



☆未来を担う なるせっ子議員☆
10/26 小・中学校 子ども議会

12月定例会議/1月招集会議



12月定例会議は、12月4日から14日までの11日間の審議期間で開催されました。

条例5件、予算6件、議決1件の合計12件と議員発議の意見書5件を含む全ての議案を全会一致で原案のとおり、可決しました。

2日目には一般質問が行われ、4議員が登壇し村政をただしました。

年明け、通年議会の始まりとなる1月招集会議は4日に開催され、定例会の会期を任期満了となる4月29日までの116日間と決定しました。

定例会会期を任期満了日までの116日間に決定！

条例

◆改正

○職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正

学校教育法の一部を改正する法律の施行に伴い、関係する条文の整理を行うもの。

○一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正

人事院勧告及び秋田県人事委員会勧告に鑑み、村職員の給料月額、期末手当、勤勉手当、宿日直手当を改正するもの。

○議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正

○特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正

秋田県人事委員会勧告に準じ、期末手当の支給率を改めるもの。

○東成瀬村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、引用する条文の改正を行うもの。

○秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更

大仙美郷環境事業組合が平成31年3月31日に解散することに伴い、組合規約の変更を行うもの。

年頭のあいさつ

議長 富田 義行



あけましておめでとうございます。

いつもの年と同じように、春夏秋冬、同じような季節の移ろいの中なかで日々の暮らしを重ねてきた過ぎし平成30年。しかし1月から師走までを細やかにふり返れば、雪、雨、風、陽射し、山、川には一年としておなじ姿はなく、その天地のもとで農作物の栽培にあたる篤農家は「自然におなじ年は無(ね)え。んだがら、毎年が一年生、勉

強だ」との金言をつぶやきます。

村の政治も、その一方の側で責任を負う議会の活動も、四季や、そこにはたらく人々のくらしのように一見おなじような繰り返しのようにみえます。でも、やはりその一年は様々な変化を積み重ねながらの日々となりました。

昨年度の村のなかで特徴的なことのひとつに、本体着工となったダム事業があげられますが、それらとは別にここでは村議会の活動にしぼって一年をふり返ります。

村議会はここ数年、議会改革に集中してとりくみ、特別委員会や議会運営委員会を軸にして諸々の新しい議会運営の方針をうちたてました。改革のひとつのヤマを越えたのが通

年議会の実施で、それも当初予定したようなかたちで軌道にのり5年を経過しました。

それとともに、通年議会のプラス面があらわれると予見した重要な要素のひとつ「常任委員会活動が継続される」という積極面が活かされ、年を追うごとに委員会の調査活動が旺盛・意識的に行われるようになりました。

それらが、予・決算特別委員会など各委員会の質疑にも効果的な影響をおよぼしているように見うけられます。

議会の役割である村政の監視役、あるいは提案役という点が重視され、予算案の減額をもとめる委員会修正案が可決されるということもおきました。その審議経過は、記憶に深く刻まれる一事例で

もありました。

昨年は、「より効果的、効率的な議論を」ということで一般質問も項目を分けて質問と答弁を終結する方式がとられ、これも、当局、議員双方のねらいどおり好評です。

議会がこの間とりくんだ改革はほかにも多くあります。それらもみな、単に効率を求めるということに止まらず「村政、そして議会は村民のためにある」という原点にたち、議会は議会でその役割をあたりまえに果たそうという姿勢のあらわれでした。

議員個々の努めとともに、常任委員会や特別委員会の果たす役割がこれからもいっそう期待されますし、そうあってほしいとひきつづき強くねがっております。

ところで、昨年は議場で子ども議会がおこなわれるのを片隅で傍聴しました。子どもたちは率直な思いからうまれる疑問や提案を質問しておりました。そこで共通して私が感じたのは、村のほこるべきものを子たちは強く意識していることでした。

昨年、村を訪れた近隣の議員さんたちから、「東成瀬は山も川も農地も景観がどこかちがう、素敵だ。美しい村のことばにぴったりだ。」とお褒めの言葉をいただきました。子たちの誇り、村を訪れるそういう方々の言葉にひきつづき応えられる、自然と人の心豊かな村づくりをむけ、議員一同力を尽くすことをお誓いし、村の安寧と皆様のご健勝をお祈りして所感を結びます。

子ども議会を開催

10月26日、平成30年度東成瀬村子ども議会を開催しました。

小学5年生から中学3年生までの子ども議員6名による一般質問が行われ、村の総合計画、人口減少、観光振興、自然災害、ダム工事など村政に関する質問や提案を行い、村長が答弁しました。

子ども議員の質問事項

小学6年
谷藤 翔太 議員
○村の現状について

小学6年
高橋 星来 議員
○村の安全・安心について

小学5年
谷藤 日菜 議員
○村の活性化について

中学2年
鈴木 望叶 議員
○成瀬ダム本格着工に当たっての
影響や完成後について
○地域学習教室について

中学3年
菅原 充希 議員
○村の観光振興、観光施策について
○村の名産品などの開発について

中学3年
千田 明 議員
○村の総合計画（基本構想）について
○学校坂名称の看板設置について



子ども議会の皆さん



坂道の入り口に標柱や看板などを設置しては



卒業までに設置をお約束します

質 疑 白 熱

12月定例会議 予算特別委員会(12月11日)

主な質疑の内容を要約してお知らせします。

平成30年度
一般会計補正予算(第6号)

歳 入

直払い交付金の返還は

質問 中山間地域直接支払交付金制度返還金はどういう内容で返還が生じたのか。

答弁 岩井川、樺台部落で農地の転用が行われ、対象から外れた3年分の返還金となっている。

質問 直払い制度は、途中で抜けることは簡単にできないことではなかったか。

答弁 5年間転用が図られないことが条件だが、不可抗力な事業用地などの要件で外れることがある。

減額の理由は

質問 農村交流センター自動販売機電気料、手数料収入の減は。

答弁 自動販売機の故障により撤去となったためである。

歳 出

ふるさと納税決済手数料追加は

質問 マルチペイメントの利用割合はどの様になっているか。

答弁 11月分ではマルチペイメントが21%、クレジット決済が58%となっている。

育苗センター修繕料追加

質問 床土・覆土用ベルトコンベアー修繕料が追加されているが、他の機械は大丈夫なのか。

答弁 育苗プラントは20年を経過し非常に不安定な状態である。指定管理者のJAと協議していきたい。



老朽化が心配される設備

高額な修繕料だが

質問 小型消防ポンプの修理16万7000円とあるが。

答弁 マフラー部分の修繕で、他の部分より高額となっている。

エアコン設置に向けて

質問 小中学校の冷房機設置調査費があるが、集中管理が各教室で管理するものになるのか。

答弁 集中管理が良いのか、個別管理が良いのかを含めて調査したい。

30年度一般会計補正予算(第6号)の主なもの

歳 入	
○地方交付税	
震災復興特別交付税	189万円
○県支出金	
県単農業夢プラン事業費補助金の減	▲218万円
道路除雪委託金の増(春山除雪分)	304万円
○寄附金	
さわやかなるせ仙人の郷寄附金の増	500万円
○繰入金	
財政調整基金繰入金の増	200万円
歳 出	
○総務費	
ふるさと納税返礼品発送等業務委託料の追加	120万円
○民生費	
自立支援給付費の追加(障害福祉サービス費等)	189万円
障害者自立支援医療費等国庫負担金返還金	168万円
介護保険特別会計(保険事業)繰出金の追加	232万円
○農林水産業費	
県単農業夢プラン事業補助金の減	▲328万円
修繕料の追加(育苗センター・循環拠点施設)	190万円
設計等委託料の減(農地費)	▲110万円
林地台帳改修等委託料	290万円
○土木費	
修繕料の追加(道路維持費)	100万円
本工事費の減(道路新設改良費)	▲250万円
修繕料の追加(冬期交通対策費)	150万円
○消防費	
消防施設整備費負担金の減	▲389万円
○教育費	
設計等委託料の追加(小・中学校冷房機設置調査費)	235万円
○諸支出金	
さわやかなるせ仙人の郷基金積立金の追加	500万円

※補正額が100万円以上のものを抜粋

高橋 清一 議員



新たな森林管理制度の取り組みは

村長 意向調査を行う



美しい山々を次世代に

質問 戦後の拡大造林政策で植林された人工林の多くが、伐採期にきているにもかかわらず木材輸入の自由化により木材価格の低迷が続ぎ、林業家の意欲低下となり適正な維持管理が出来ていないと思える山林が多く見られる。村の山林が今後も美しいまま次の世代に移していけるように、来年度から始まる新制度に向けた村の取り組みを聞く。

村長 今年5月に森林経営管理法が成立し、仮称「森林環境譲与税」が平成31年4月施行予定で、民有林の経営や維持管理に事業予算を使用し適正な維持管理がなされるよう所有者の経営意向調査等しながら進めていく予定だ。今年度は、林地台帳を整備するため12月議会に予算化しており、平成31年度には滝ノ沢地区で経営意向調査を行う予定。また、意向調査の結果を受けて、

それぞれに合った対策を進めていくことになる。

地域防災リーダーの育成施策は

質問 地域防災を考える上で欠かせないのが、地域の防災リーダーの育成。初期対応や避難指示を的確に行い、被害の拡大を防ぐことができるかがリーダーに求められる。リーダーを育て、減災に結びつけることが一番大切である。今後村ではどのような施策を予定し、リーダーを育てていくのか。

防災士の育成はどうか

質問 村でも消防や地域のリーダーを中心に様々な講習会等を開催しているが、リーダーの育成のため防災士の資格取得の推進はどうか。

村長 資格取得は、かなりの研修や資格要件もあり厳しい状況で今後検討する。当村では、防災指導員として消防防災に精通した4名を委嘱している。自主防災活動の中心メンバーとして協力いただいており、より一層内容を充実させたい。

村長 地域の自主防災組織活動が一番重要と考え、この組織の積極的な活動や訓練等の実施をより一層充実させていく。自主防災組織のより徹底した研修等を進め、組織の幹部や消防団幹部との連携によりリーダーを育て、非常時には直ぐに機能するよう対策を進める。毎年様々な講師を招き研修会等を実施しており、本年も12月19日に実施予定としている。

その他の質問
雪下ろしの施策について

村政を問う

佐々木 悦 男 議員



新規起業支援事業の効果は？

村長 概ね効果はある

質問 東成瀬村新規起業等育成支援金交付事業について、平成22年度滝ノ沢ファームから今年度SSKまで15社について、要綱と照合し気になるところがあり伺う。
この事業は雇用や賃金で地元還元が図られているか。

村長 還元の内容には考え方受け取り方が色々あると思うが、概ね事業そのものは効果があると考ええる。

質問 起業後5年以上の事業継続とは、支援対象期間の5年か、支援対象期間後の5年か。

村長 支援対象期間を含めて期間後5年程度を想定している。

質問 価格が50万円以上の機械器具の交換等、管理状況の確認はどのように行われているのか。

村長 支援対象の備品等については、実績報告によって確

認しており、耐用年数も含め、決算書等でしっかりと確認している。

質問 村長は3500万円を支援交付するに当たり、期待する雇用人数、法人税等どれくらいを期待しているのか。

村長 事業内容によっては、雇用の人数、あるいは地域貢献、法人税とそれぞれ違いがある。雇用の場の創出を図り、1名でも多く確保することが大事だと思う。

質問 農業法人立ち上げ時は事前に議会に説明があったようだが、最近は何年間予算額だけで、どのような会社設立され、どのような目的で補助金を申請しているのか説明が無い。交付後ではなく申請時に議会に提示できないのか。

村長 一定程度の説明はしたと理解していたが、不足については、民間企業の場合、取引上事前に公表できないものもありうるかもしれないので、



村から8人を雇用し仏壇の製造を行っている「まごころ工房」

十分な説明がなされないこともあるかもしれない。申請者の同意を得て今後は、できる範囲内で説明したいと考える。

再問 4年で廃業してしまっただ場合、整備した物や買った

もの、それらはどのように処理していくものか。

村長 どんな事情で廃業に至ったか十分調査、把握をしながら適正に対処していかねばならない。

佐々木 修 議員



自立後15年、新たな自立計画策定を

村長 村独自の計画を準備する時期に来ている

質問 平成15年、東成瀬村の自立時に、15年計画で策定した「自立計画」があった。自立後、15年が経過し、今後も同様に村を維持するために、新たな「自立計画」策定が必要になって来るのではないかと。

村長 平成15年の「自立計画」は、村が自立して行く強い意志表明で、それに基づく行財政運営をすれば、自立できる方向性を示した計画であった。次期の総合発展計画では、国、県の方針を十分取り込み、村がどうあるべきか、村民の意見、意志が反映された計画を具体的にしていこうと準備に入っている。



将来を見据えた運営を

東成瀬村応援団と情報発信

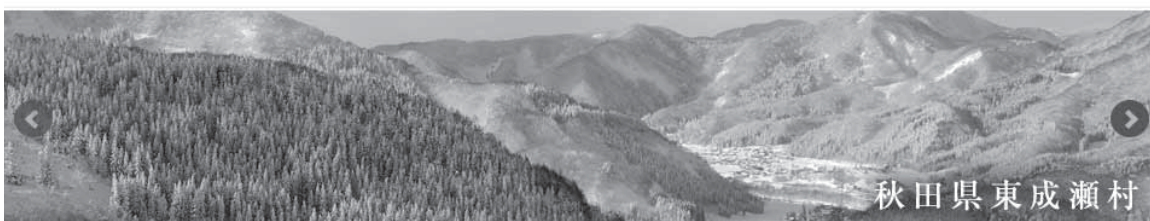
質問 2600人を超えた東成瀬村応援団。大きな人数で、登録を受け付けている村には責任があり、応援団の方へ登録後の配慮が必要である。村の事務的な負担を減らす為にも、通常の観光の為に、インターネットが重要であるが、現在のホームページは、分かりにくいという声がある。再構築すべきではないかと。

村長 応援団制度は、交流人口拡大し、村を訪れてもらい、色々な形で村の振興発展に関わって意見を頂く目標がある。ホームページの内容、応援団のコーナーなど充実へ向け、今後積極的に進め、来て頂く対応策をとる努力をしていく。

再問 現在のホームページは、パンフレットに掲載されているような固定化された情報が多い。季節ごとの生きた情報などが必要とされている。

村長 やはりタイムリーな情報が求められるので、関心を持たれる、見る人の立場に立つて考えたサイトの充実が一層大事になって来ると考える。

- Overview 村の概要
- Information of living 暮らしの情報
- Information of village 村の情報
- Sightseeing 村の観光
- Everyone's Square みんなの広場



秋田県東成瀬村

2,600人を突破した東成瀬村応援団の方々へ生きた情報を

村政を問う

佐々木 正 利 議員



同時に学校坂を整備しては

村長 しっかり対応していきたい

村長 現場の勾配を修正する、或いは幅員を広げていくとなると、一定の距離しかない中で技術的には厳しい状況だが、少なくとも側溝の整備、改良も含めて総合的に交付金事業として計画的に対応していきたい。懸念のある点についても参考にさせていただき

質問 子ども議会で中学生からの一般質問で、国道から登ってくる坂道を「夢見坂」、小学校から登ってくる坂道を「希望坂」と名付け、村内外の方々に広く知っていただき、中学生が母校を思つた心や郷土を愛する心をずっと持ち続けられるよう、坂道の入り口に看板や標柱を設置してはどうかとの質問で、約束したように聞いている。大変良いことだと思つたが、特に「夢見坂」はU字溝に蓋がなく安全性の問題、歩道と橋の間に水たまりができる、橋が狭いなど指摘されており、是非この機会に坂道の環境整備も同時に進めたら素晴らしいと思うが如何か。

ながらより良い道路改修にあたっていきたいし、学校坂の看板や標柱にもしっかり対応していきたい。



ゆめみ 夢見坂（生コン側）



のぞみ 希望坂（小学校側）

かなりの事業見直しか

質問 次年度予算編成については、地方交付税の減額などさらに厳しい状況になると行

政報告があったが、今定例会議以後の財政調整基金残高はどれ位か。事業の見直し結果が少なからず反映された予算編成を考えているとのことだが、かなり見直しをかけるという事なのか。

村長 財政調整基金の現在の残高は9億9900万円。他にも福祉基金等もあるので合計残高は13億252万円となっている。色々な事業の見直し或いは単独事業の見直しによって、内容的には相当変わってくるだろうと想定している。すでに役割を終えるような事業もあったのではないかと、検討の中に出てきている。项目的にはかなり削減されたり、或いは統合したりする項目があるのではないかという所から見直しにあたっては、動きがあるとの行政報告であった。

その他の質問
交通安全対策について

12月定例会議議決事項名

職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例	平成30年度一般会計補正予算（第6号）
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	平成30年度国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）補正予算（第2号）
議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例	平成30年度介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第3号）
特別職の職員で常勤のものゝ給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	平成30年度介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第2号）
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	平成30年度簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更	平成30年度下水道事業特別会計補正予算（第2号）

委員会活動

12月12日、総務教育民生常任委員会と産業建設常任委員会が合同で村内施設訪問と村が発注した工事状況を視察しました。

施設訪問は、小・中学校と、なるせっ子夢センターで、各施設の運営状況や要望事項を聴きました。また、滝ノ沢地区に建設中の若者定住促進住宅を視察しました。



東成瀬中学校（授業参観）



滝ノ沢地区定住促進住宅



東成瀬小学校（校舎見学）

請願・陳情

採択とした陳情

- 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善と大幅増員のため国に対し意見書の提出を求める陳情
(陳情者) 秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 渋谷 一
- 「介護労働者の労働環境及び処遇の改善」のために国に対し意見書の提出を求める陳情
(陳情者) 秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 渋谷 一
- 看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設のため国に対し意見書を求める陳情書
(陳情者) 秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 渋谷 一
- 75歳以上の後期高齢者医療自己負担を2割にしないことを国に求める陳情書
(陳情者) 秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳 外1名
- 介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善等を国に求める陳情書
(陳情者) 秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳

不採択とした陳情

- 陳情 食糧の安全・安心を図るために農産物検査法及び食品表示法の抜本的見直しが必要です
生き物共生農業を進める会 代表 今野 茂樹 外2名

議会の動き

第30回首都圏なるせ会総会



盛会だった首都圏なるせ会総会

11月3日、ホテル椿山荘（東京都文京区）において首都圏なるせ会定期総会が開催され、議長・副議長の外3名の議員が出席しました。

第30回目となる総会には184名が参加し、ふるさとの話題で大いににぎわいました。

また、新会長には岩井川出身の富田秋雄氏が就任されました。

村・議会合同中央要望会



菅官房長官に要望書を手渡しました

11月2日、村当局と合同で中央要望会を実施し、秋田県選出国會議員と国土交通省、総務省、財務省を訪問し、地方財政の充実強化と地域の期待に応える成瀬ダム建設事業、山村地域における道路の整備促進を要望しました。



ホテルマンとして経験豊富な高井支配人

この人に聞きたい

あきこ

akikoの突撃

いんたびゅう

今回は、12月から秋田栗駒リゾート株式会社の支配人に着任されました高井健一氏にインタビューしました。

高井 明子 ご出身はどちらですか。
出身、住まいも秋田市で、現在はホテル・プランに単身赴任中です。

高井 明子 大変ですねー。単身赴任のご経験は？
初めてです。洗濯物だけは持ち帰っています。

高井 明子 よろしければ、年齢とご家族などを。
今年還暦を迎えます。家族は妻と子ども二人で、子供は学生で東京に居ます。

高井 明子 趣味や休日の過ごし方は。
これといった趣味はありません。冬はスキー、夏は登山といった季節感のある趣味にあこがれます。(笑) 休日は自宅に帰って妻の手料理を食べるのが楽しみといった感じです。

高井 明子 スキーをやったことは。
30年以上前にやったきりです。楽しそうに滑るお客様を見てもう一度チャレンジしてみたいと思ったりもします。

高井 明子 これまでのお仕事はどのようなことをされてきましたか。
以前は「秋田会館」で宴会場の営業を主に、その前は

「秋田ニューグランドホテル」でフロントマンと営業職をやっていました。今回はほぼ同業での三つ目の職場になります。

高井 明子 スキー場やホテルプランの印象はどうですか。
リフトの数も多く、レストランも含めて比較的規模が大きく、本格的なスキーヤーが多いと感じました。温泉は毎日入っていますが最高です！肌がとろとろスベスベの感じがたまらなくいいです。

高井 明子 支配人としてチャレンジしたいことなどありますか。
それぞれの施設をもっと広範囲にPRし、できればインバウンドにも対応できる環境を整えたい。

高井 明子 最後にPRメッセージを。
スキー場、パークゴルフ場、ホテルプラン、栗駒山荘、それぞれの施設の素晴らしさに磨きをかけ、将来は村の方々へ利益を還元できるように頑張りたい。
皆様には、ぜひ機会をみつけてご利用くださいますようお願い申し上げます。

高井 明子 お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

暫時休憩

さんじ きゆうけい

▼暖冬かと思いきや年末からの大雪。そんな中、平成最後の新年を迎えました。それぞれ良い正月だったでしょうか。

▼昨年を振り返ると、大変災害の多い年でもありました。西日本豪雨や北海道地震など大災害が発生し甚大な被害が起きました。被災された皆様には改めてお見舞いを申し上げます。

▼そんな中、大変嬉しい出来事もありました。夏の高校野球で金農高校が「準優勝」県民に大きな喜びと感動を与えてくれました。「ありがとう」

▼まもなく平成が終わりを告げ、新しい時代の幕開けとなります。両陛下には、長い間大変お疲れ様でした。この後、どの様な元号になるか今から楽しみでもあります。

▼間もなく大寒、寒さが一番厳しい時期、健康には気を付け元気で春を待ちたい。

▼本年も良い年であります様に。

(委員・佐々木 謙吉)